

令和7年3月

人権一口講座



「ふれあい文化センターでお待ちしております♪」

私は昨年4月に配属になりました「ふれあい文化センター」一年生職員です。今年度も残すところひと月、とても楽しく充実した一年でした。

私が初日に出勤した時の出来事です。その日は入浴サービスと貸館がいくつか入っていて、ロビーも賑やかでした。私は初めての環境にドキドキしながら、事務室の中で持ってきた道具等の整理をしていました。すると、「職員さん、職員さん。」と入口から声がします。行ってみると、二輪の白い可憐な花を手を持った女性が。

「綺麗な花を見つけたから持ってきたよ。」彼女は私にその花を手渡すと、二階に上がっていかれました。私は声をかけてもらったことがとても嬉しくて、その花を皆に見ていただけたらと思います、急いでコップにその花を生けてロビーのテーブルに飾りました。

そこにはお風呂から上がった方々が休憩をされていて、「あら、かわいかねえ。」「名前は何だろうかねえ。」「職員さん、これはスズランと言うとよ。」「こりゃスズランじゃなかよ。あたは人ばかりこうて（からかって）ばかりおるね。」その花を話題に皆が笑顔になりました。私は一緒に笑いながら、緊張がとけていくのを感じました。ふれあい文化センターはみんなの居場所なのだな、そして、私の新たな居場所にもなるんだ、と温かい気持ちになりました。

人にはたくさんさんの居場所があるといいと聞きます。それは家庭や仕事場だけでなく、生きがいや楽しみ学びの場も含まれます。場所だけでなく、リラックスしたり好きなことしたりする時間も、「心の居場所」という意味で大切なものと考えていいでしょう。

「ふれあい文化センター」が皆様の居場所作りにお役に立つことを願っています。四月からは、令和7年度の講座・クラブ・高齢者教室も始まります。入浴サービス、リハビリ室、図書室、単発の主催講座もあります。何より、利用者の方々の笑顔があります。来館してみませんか？お待ちしております。



（熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和7年3月号より）

短いメッセージ

「君らしいから いいんじゃない」枠を作らず
認めてくれた 自分らしさは 宝物

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 飽田中学校 3年 徳永 安希さん(令和5年度の作品より)